

法 学 第 391 号
平成 30 年 7 月 30 日

各 私 立 学 校 設 置 者
各 私 立 学 校 長 } 様
(中・高・特)

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

部活動における熱中症事故の防止等について（通知）

このことについて、別添「運動部活動における熱中症事故の防止等について」（平成 30 年 7 月 20 日付け 30 ス庁第 262 号スポーツ庁次長通知）及び「文化部活動の熱中症事故の防止について」（平成 30 年 7 月 20 日付け事務連絡文化庁文化部芸術文化課通知）のとおり依頼がありました。

熱中症の事故防止については、これまでも「熱中症事故の防止について」（平成 30 年 7 月 23 日付け法学第 369 号）や「熱中症事故の防止について」（平成 30 年 7 月 24 日付け法学第 377 号）等により通知をしてきたところですが、近年の気候変動等により、暑熱環境が悪化し、学校の管理下の活動、とりわけ下記の運動部及び文化部活動における熱中症事故の防止等、生徒の安全確保に向けた取組を強化することが急務となっております。

つきましては、本通知の趣旨及び下記の点等を踏まえ、生徒の安全確保が徹底されるよう適切な対応をお願いいたします。

記

- 1 「設置する学校に係る部活動の方針」及び「学校の部活動に係る活動方針」の策定にあたり、例えば、気象庁の高温注意情報が発せられた当該地域・時間帯における屋外の活動を原則として行わないように明記する等、適切に対応すること。既に方針を策定した学校設置者及び学校にあっては、必要に応じて改定すること。
- 2 高温や多湿時において、体育大会や対外試合等が予定されている場合は、必要に応じて主催する関係団体等と連携を図りつつ、実施の見直しを図る等、柔軟に対応すること。
- 3 活動前、活動中及び活動終了後にこまめに水分や塩分を補給し、休憩を取るとともに、生徒への健康観察など健康管理を徹底すること。
- 4 熱中症の疑いのある症状が見られた場合には、早期の水分・塩分補給、体温の冷却、病院への搬送等、適切な応急手当等を実施すること。
- 5 屋内でも熱中症事故が発生していることから、文化部活動においても生徒の安全確保を徹底すること。

【担当】私学振興担当 半田

電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

メールアドレス：AH0007@pref.iwate.jp